

教育支援だよりは、先生方と支援教育に関する「こんなこと良かった!」「役に立った!」といった情報共有を目的に発行しています。瀬谷支援学校の取り組みを多くの方に知ってもらうためのおたよりです。

～まっちゃんの今月のつぶやき～

できると言われたことを使えるようになるために…

教え子の中に「一人で買い物に行けるようになったけれど、財布の中に小銭がたくさんたまって重い…」となげいている生徒がいました。え?どうして? 授業で金種を覚え、正しい金額も出せるようになったのに…

聞けば、支払いの時にもたつくのが嫌でついコインでなく紙幣を出してしまうとのこと。特に後ろに人が待っている時は視線を感じて「早くしなければ」とあせってしまうのだそうです。で、その結果、大量の小銭持ちになるのです。

教室の中でできるようになったことと、社会の中で使えるようになることとは同じではないのだ、と感じた出来事でした。

そんな中、最近、福岡県のスーパーに **あなたのペースに合わせるレジ「スローレジ」**ができたという記事が新聞に出ていました。時間限定ではありますが、そちらのレジに並んで買うお年寄りが増え、店の売り上げが伸びたとか?

私たちを取り巻く社会がちょっと工夫をするだけで、持っている力を安心して使うことができる場が広がることがあるんですね。

もちろんカードやスマホを使うことでスムーズにレジを通過することも有効な支援のひとつです。けれど、「**できる・できない**」を自己責任だけに求めず、**ちょっとした配慮が私たちの生活を穏やかにしてくれる**とすれば、そんな形を提供してくれる社会は誰にでも優しい社会だよね…と思えるのです。

(教育支援チーム)

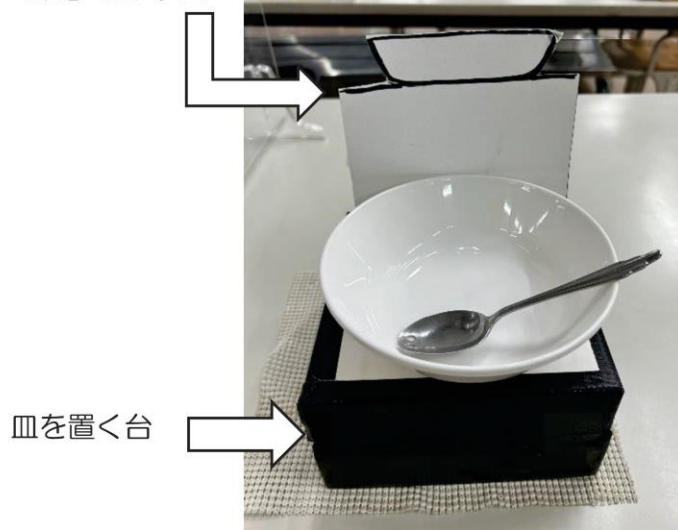
ちょっと支援 「こんなこと やってみました」(中学部編)

ちょっとした工夫、ちょっとした支援で「できるようになった」をご紹介します！

★食台

食器皿を台に置いてみました⇒ かきこみ食べが減り姿勢がよくなりました！

「ここに置いてね」
「動かさないでね」を示す図



横から見るとこんな感じ

★食具（スプーン、フォークの三指持ち用の教材）

プラスチックの粘土で「持ち手」を作ってみました⇒ 自分で持てるようになりました！

100円ショップで売っている、お湯で柔らかくできる粘土を使います。



★クリップ

ラバークリップにしてみました⇒ 自分でつけ外しできるようになりました！

ふつうのクリップ



同じクリップでも
ちがうんだね…